

中田かわら版 12月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<48>

病児保育に生涯注ぐ

山本 みち子さん 下村



昭和40年に国立横浜病院（現在の横浜医療センター）に就職しました。職場は看護婦不足で夜勤は月14～16回でした。出産すると退職するので残された人は大変でした。出産しても退職しなくてもよいように、保育所を作ることになり「保育所を作る会」を立ち上げて給料よりカンパをさせていただいたり、また多くの人の声があり、病院から官舎を提供していただき、昭和45年8月1日「ひまわり保育園」を開設しました。1歳半になると近くの「聖母の園」と提携して移行するようになると、どうしても迎えの時間が遅くなり注意される人が出て6歳までの保育にして、来れない場合は、お泊り保育をしたり、早朝の勤務のときは食事ができるようになりました。

経営は困難でしたが、バザーや職員の弁当を月1回作ったりして補いました。横浜市の認定保育園になったので、だいぶ充実してきましたが、病気になったとき預かってもらえるよう病児保育ができるよう学習会を実施し準備し、私も病気のときが困ったので定年を機に開設しました。しかし、平成2年に国立病院療養所が独立行政法人に移行する際に保育園は全国に250か所ある全国一括ピジョンに委託されると発表されました。横浜病院の保育士さんはピジョンの保育は嫌と自分たちの保育理念の「水、太陽、土」を中心と

した保育をしたいと言って厚生省や国会まで請願に行きました。それでもダメで横浜市の認定保育園であったので、横浜市より外に出るように言われ土地を探し、建物と卒園児の父母にお願いして平成14年12月1日、横浜市認定保育園「おおぞらひまわり保育園」を開設しました。まずは井戸を掘り自分たちの理念の水が十分に使えるようにし泥んこ遊び、泥団子作りで外遊びを多くして陽に当たるようにしました。保育園の周りは畑もあり野菜作りや稲づくりをして子どもたちが精一杯自然と向き合っ自分の好きな遊びをして自分を主張できるように子どもを中心に、父母、保育士が手

おおぞらひまわり 保育園



を取って頑張っています。今年でひまわり保育園は48歳を迎え8月1日はひまわり保育園誕生会を実施し卒園児の何人かが保育士になって、当園で頑張ってくれているのを見ると歴史は繋げられていくのだなとほっとしています。

（寄稿・山本みち子）

山本みちこさんは現在、「おおぞらひまわり保育園」を充実する活動の中で、中田地区保健活動推進員の会長として、講師の依頼、日程、場所の確保などさまざまなことを考慮しながら実行に移しています。骨密度測定、健康チェック、血管年齢測定、健康教室、ウォーキング、リズム体操、ストレッチ体操、フラダンス、太極拳など多岐にわたるスケジュールを組み、中田連合自治会の文化祭に参加し、多忙の日々を送っています。

（編集委員 木下良江）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

1月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

第42回 中田新春健康マラソン大会 募集要項



日時：平成31年1月13日（日）雨天中止

開会式 9:30 スタート 2.5 km 10:00 5 km 10:20

場所：中田小学校校庭（スタート及びゴール）

申し込み方法：往復はがき（本人負担）による事前申込制（当日の申し込み不可）※12月19日必着

表彰：種目ごとに表彰します。また参加者全員に参加賞、その他特別賞など多数あります。

参加費：中田連合地区在住者以外は1,000円（但し中学生以下は無料）

お問い合わせは、各自治会・町内会の体育部長まで。

申し込み方法及びコース図等「中田新春健康マラソン大会 開催要項と申込方法」については、立場地
区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスに12月1日から置いてあります。

■多世代交流スペース「宮ノ前テラス」

おすすめは「コーヒーと限定ランチ」

店内に入ると、挽き立てのコーヒーの良い香りが漂っていた。今回開店2週間後に訪れたのは、9月9日にオープンした多世代交流スペース「宮ノ前テラス」である。

ここでは毎週日曜日から木曜日までカフェを開いており、明るく暖かい雰囲気の店内で美味しいコーヒーやケーキなどを楽しむことができる。宮の前公園に隣接していることもあり、お昼時になると子どもを連れた若いママさんや、ゲートボールをしているシニアの方々などが多く利用している。取材中にもベビーカーを押したママさんが数人訪れていた。レンタルスペースとして部屋の貸し出し（時間や値段については応相談）や、水曜日には子どもの自習室としてスペースを開放したり、子ども食堂も行っている。その他にもシニア向けの健康講座や若い世代のヨガ教室、子育てについてもベビーマッサージなどを定期的に開催しており、まさに「多世代交流スペース」にふさわしい活動を行っている。



店のおすすめは、毎週日曜日から火曜日まで行っている限定30食のランチ。ここでは食材を地域の方から提供していただいております。中田で採れた新鮮な野菜や果物を中心とした、栄養バランスの取れたメニューになっている。また、前日に食材が届くため、当日の朝にその食材に合ったメニューを考え、新鮮さを活かしているのも特徴だ。おしゃれな空間で650円でこのクオリティーのランチが食べられる場所としては、この周辺では唯一と言えるかもしれない。

テラスではこれらの様々な活動を全てボランティアで運営しており、サポーターとして地域の方々のボランティアも募集している。興味のある方は、まずはお客として足を運んでみるのはいかがでしょうか。

（北見 周吾）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！